

経 済 統 計 学 会

第 60 回 (2016 年度)

全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期 間 : 2016 年 9 月 11 日 (日) ~ 9 月 13 日 (火)

会 場 : 鹿 児 島 大 学 法 文 学 部 (郡 元 キ ャ ン パ ス)

日 程

研究大会 9 月 12 日 (月) 9:00~17:45

9 月 13 日 (火) 9:00~16:50

会員総会 9 月 12 日 (月) 13:40~14:40

懇 親 会 9 月 12 日 (月) 18:15~20:15

理 事 会 9 月 11 日 (日) 16:00~18:00

統計チュートリアルセミナー

9 月 11 日 (日) 13:30~15:45

経済統計学会九州支部

2016 年度全国研究大会実行委員会

実行委員長 鹿 児 島 大 学 法 文 学 部 松 川 太 一 郎

〒890-0065 鹿 児 島 市 郡 元 1-21-30

TEL 099-285-7601 (松川研究室直通)

FAX 099-285-7615

Email : matsukawa@leh.kagoshima-u.ac.jp

8:15 受付開始(1号館1階ロビー)
9:00 開 会

9:00~10:30 セッションA: 一般報告 会場: 3号館103講義室
自由論題1 座長: 橋本 貴彦(立命館大学)

1. 泉 弘志(関西支部)・戴 艶娟(広東外語外貿大学)・李 潔(埼玉大学)
Eora MRIO(世界多地域産業連関表)と OECD WIOD(世界産業連関表)による全労働生産性上昇率の計測
2. 橋本 貴彦(立命館大学)
中間財を考慮した技術選択と相対価格: 世界産業連関データベースを用いた実証研究
3. 木下 英雄(大阪経済大学)
雇用マトリックスを用いた投下労働量変化の要因分析における産業分類表と商品分類表の比較

9:00~10:30 セッションB: 企画セッション 会場: 3号館104講義室
政府統計マイクロデータの作成・提供における方法的展望
(『統計学』創刊60周年記念事業委員会提案セッション)
コーディネーター: 『統計学』創刊60周年記念事業委員会
座長: 水野谷 武志(北海学園大学)

1. 小林 良行(総務省統計研修所)
統計メタデータアーカイブの展開可能性
2. 山口 幸三(総務省統計研修所)
政府統計の作成における一部調査(標本調査)の方法的位置
3. 高橋 将宜(東京外国語大学)
諸外国の公的統計における欠測値の対処法

10:40~12:40 セッションC: 企画セッション 会場: 3号館103講義室
人口減少社会における地域の諸課題と調査・統計分析
コーディネーター: 菊地 進(関東支部) 座長: 御園 謙吉(阪南大学)

1. 菊地 進(関東支部)
宮城県南三陸町の企業・事業所調査の分析
2. 芦谷 恒憲(兵庫県企画県民部)
兵庫県における観光地域経済見える化の現状と課題—地域データの活用に向けて—
3. 大井 達雄(和歌山大学)・野津 直樹(株式会社ナビタイムジャパン)
人口減少社会における観光データの利活用に関する考察
4. 上藤 一郎(静岡大学)
希望子ども数調査に基づく小地域の将来人口推計

10:40~12:40 セッションD: 企画セッション

会場: 3号館 104 講義室

セオリー・オリエンテッド・リサーチとしての社会統計学

コーディネーター・座長: 佐野 一雄 (福井県立大学)

1. 佐野 一雄 (福井県立大学)
経済学における社会的集団現象にかんする理論と実際
2. 藤山 英樹 (獨協大学)
社会ネットワークの統計学的な分析手法について
3. 作間 逸雄 (専修大学)・勘 暁婉 (専修大学大学院)
誰のための物価指数か?—問題提起として—
4. 大西 広 (慶應義塾大学)
マルクス派最適成長モデルによる中国経済の成長率予測

予定討論者: 橋本 貴彦 (立命館大学)

12:40~13:40 昼休み

9月12日(月) 午後の部

13:40~14:40 会員総会

会場: 1号館 201 講義室

14:50~17:45 セッションE: 共通論題セッション (学会本部企画)
2008SNAの導入と課題

会場: 1号館 201 講義室

コーディネーター: 櫻本 健 (立教大学)

座長: 小川 雅弘 (大阪経済大学)

1. 酒巻 哲朗 (内閣府経済社会総合研究所)
我が国国民経済計算の基準改定と2008SNAへの対応について
2. 田原 慎二 (内閣府経済社会総合研究所)
JSNAの支出側・生産側推計における2008SNAへの対応について
3. 藤原 裕行 (日本銀行調査統計局)
2008SNAを踏まえた資金循環統計の見直し結果
4. 飯塚 信夫 (神奈川大学)
GDP速報改定の特徴と、推計が抱える問題について

予定討論者: 作間 逸雄 (専修大学), 金丸 哲 (鹿児島大学)

18:15~20:15 懇親会

会場: 学習交流プラザ2F ラウンジ3

9:00~10:30 セッションF: 企画セッション

会場: 3号館 103 講義室

公的統計データの二次的利用促進に向けた新展開

コーディネーター: 坂下 信之 (総務省統計研修所) ・ 谷道 正太郎 ((独) 統計センター)
座長: 坂下 信之 (総務省統計研修所)

1. 中村 英昭 (総務省政策統括官 (統計基準担当)) ・ 平澤 鋼一郎 (総務省統計局)
公的統計の二次的利用の促進に関するわが国の取組状況
2. 谷道 正太郎 ((独) 統計センター) ・ 佐藤 智哉 (総務省政策統括官 (統計基準担当))
公的統計マイクロデータの新たな利用形態について
—わが国におけるオンライン利用 (リモートアクセスによる) の実現に向けて—
3. 三神 均 ((独) 統計センター) ・ 小島 健一 (野村総合研究所) ・ 伊藤 伸介 (中央大学)
オンデマンドによる統計作成について
—オーストラリア統計局の Table Builder を中心に—

9:00~10:30 セッションG: 一般報告

会場: 3号館 104 講義室

自由論題2 座長: 山口 秋義 (九州国際大学)

1. 鈴木 雄大 (立教大学)
指数算式および測定目標からみた CPI の展開
2. 坂田 大輔 (立教大学)
インド統計調査論争の展開—インド全国標本調査に係る論争を中心に—
3. 古谷 次郎 (北星学園大学)
高等学校情報科・公民科等における公的統計データを用いた教材開発

10:40~12:40 セッションH: 企画セッション

会場: 3号館 103 講義室

人口統計における現代的課題

コーディネーター: 伊藤 伸介 (中央大学) 座長: 菅 幹雄 (法政大学)

1. 伊藤 正一 (総務省統計局)
平成 27 年国勢調査の実施状況について
2. 山田 茂 (国土舘大学)
2015 年国勢調査結果の精度について—抽出速報集計を利用した暫定的考察—
3. 菅 幹雄 (法政大学) ・ 櫻井 祐子 (東京都総務局)
東京都の人口予測について
4. 吉田 央 (東京農工大学)
韓国の人口センサスの作成の現状

10:40~12:40 セッションI：企画セッション

会場：3号館 104 講義室

日本の統計史を考える

コーディネーター：小林 良行（総務省統計研修所）

座長：森 博美（法政大学）

1. 小林 良行（総務省統計研修所）
統計家としての柳澤保恵
2. 上藤 一郎（静岡大学）
戦前期における日本の数理統計学と公的統計
3. 山口 幸三（総務省統計研修所）
戦前と戦後の失業に関する統計調査
4. 廣嶋 清志（関東支部）
日本の年齢別人口統計の発達（その2）

予定討論者：佐藤 正広（一橋大学）

12:40~13:40 昼休み

9月13日（火） 午後の部

13:40~15:10 セッションJ：一般報告

会場：3号館 103 講義室

自由論題3 座長：金子 治平（神戸大学）

1. 伊藤 陽一（関東支部）
政府統計の原則および統計品質論等の国際的展開と示唆
2. 菅 幹雄（法政大学）
経済センサスー活動調査の学生調査員について
3. 吉田 央（東京農工大学）
貿易統計を利用した天然ガス輸入価格の分析

15:20~16:50 セッションK：一般報告

会場：3号館 103 講義室

自由論題4 座長：御園 謙吉（阪南大学）

1. 新井 郁子（（公財）統計情報研究開発センター）・西内 亜紀（（公財）統計情報研究開発センター）・草薙 信照（大阪経済大学）
3つの国際拠点空港が周辺地域に与えた影響
—地域メッシュ統計による人口・産業の分析—
2. 劉 瑞興（広島修道大学大学院）
金融安定における「誤差脱漏」に関する統計推測
3. 張 南（広島修道大学）
国際資金循環統計の試作について

13:40~16:50 セッションL：企画セッション（ジェンダー統計研究部会）

就業、介護、貧困とジェンダー統計

会場：3号館 104 講義室

コーディネーター：水野谷 武志（北海学園大学）

座長：杉橋 やよい（金沢大学），水野谷 武志（北海学園大学）

1. 大澤 理沙（釧路公立大学）
市町村の介護サービスと要介護状態の地域差に関する研究
2. 橋本 美由紀（法政大学）
親と同居の未婚の子の介護の状況と生活時間
3. 水野谷 武志（北海学園大学）
乳幼児を持つ夫妻の「拡張育児時間」の推計
4. 畠中 亨（帝京平成大学）
地域社会政策における統計指標—子どもの貧困対策推進計画を中心に
5. 武内 真美子（九州大学）
高学歴女性のキャリアに関する国際比較研究
6. 杉橋 やよい（金沢大学）
男女間賃金格差是正策における統計指標について

16:50 研究大会 閉会

9月11日（日）

13:30~15:45 統計チュートリアルセミナー（学会本部企画）
経済統計学会・法政大学日本統計研究所共催

会場：3号館 103 講義室

公開セミナー（参加費無料）

小地域統計情報の利用と活用

—人口減少社会における地域課題の分析—

コーディネーター：菊地 進（関東支部）

司会・進行：大井 達雄（和歌山大学）

13:30 開会挨拶

13:40 政府サイトからダウンロード可能な小地域データの利用
森 博美（法政大学）

14:30 統計データとGISを用いた地域分析
小西 純（（公財）統計情報研究開発センター）

15:20 質疑

15:45 終了

お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会にかかわる同封の返信はがきは、8月15日(月)【必着】までに、ご返送願います。また理事の方は、理事会への出欠についても同様にご返事願います。
2. 研究大会の参加費(報告要旨集代金を含む)は、一般会員3,000円、院生会員1,000円、非会員4,000円です。懇親会費は4,000円(院生会員2,000円)を別途いただきます。
3. 報告者の方は、電子メールでお知らせする要領で「報告要旨集」の原稿の送付をお願いします。また報告要旨は、下記の学会ホームページで公開します(8月中旬以降の公開予定)。
経済統計学会ホームページ：<http://www.jsest.jp/>
4. 会場配布資料などの事前郵送を希望される方は、9月2日(金)【必着】までに、本プログラムの表紙記載の住所(担当：松川)にご送付ください。確認のため、送付された方は matsukawa@leh.kagoshima-u.ac.jp までご連絡ください。
5. 報告時間は1報告30分とします(質疑時間を含む)。企画セッションでは、報告時間の配分・運用が異なる場合がございます。詳しくは各セッションのコーディネーターにご確認ください。会場ではPowerPoint(Office 2010)によるプレゼンテーションが可能です。セッション開始前に準備したPCにファイルをコピーしますので、報告者はファイルをUSBメモリ(事前にウイルス対策ソフトによるチェックを済ませておいてください)に入れ係員にお渡しください。
6. 報告会場では飲食ができません。別に用意する控え室(法文学部1号館101講義室)をご利用願います。なお、大会期間中の昼食について、9月12日、13日は、大学生協の中央食堂と喫茶店ガロアが利用できます。そのほか、会場近辺にある限られた飲食店(当日に地図を配付します)などの利用をお願いします。
7. 理事会を下記の要領で開催します。
日時：9月11日(日)16:00~18:00
場所：鹿児島大学法文学部1号館202講義室
8. 各委員会・研究部会の会合は、9月13日昼休みまでに実施をお願いします。
matsukawa@leh.kagoshima-u.ac.jp (松川) まで事前に時間・人数を連絡いただければ、部屋の調整をいたします。
9. 鹿児島大学法文学部(郡元キャンパス)へのアクセスは、次のページを参照してください。なお宿泊については、各自で御手配ください。
10. 不測の事態により、研究大会が予定通り開催できない場合には、学会ホームページや一部の支部ではメーリングリストなどにて本会の対応をお知らせします。また、プログラム発送後の研究大会にかかわる更新情報のお知らせも学会ホームページ等にて行いますので、随時ご確認ください。

経済統計学会 2016 年度全国研究大会 プログラム委員

北海道支部 水野谷 武志(北海学園大学)	東北支部 深川 通寛(石巻専修大学)
関東支部 森 博美(法政大学)	関東支部 櫻本 健(立教大学)
関西支部 村上 雅俊(阪南大学)	九州支部 西村 善博(大分大学)[長]
九州支部 松川 太郎(鹿児島大学)	

